●森川里海つなぐ砂の道シンポ　9 月 22 日・23 日　京都大学（200 人）　木津川玉水浜中聖牛視察（50 人）

京都大学　宇治キャンパスのきはだホールで開かれた公開シンポジウムに参加してきました。
アメリカからマット・コンドルフ教授（カリフォルニア大学）とエレン・ウォール教授（コロラド州立大学）そしてドイツからマリエル・エバース教授（ボン大学）の出席があった。日本からは竹門先生と中野上席研究員、そして滋賀県立大学教授の 6 人から報告がされた。里山の会からは播川、山村、野村。会員でもある小川特任准教授（大阪工業大学）も参加していました。他にも会と馴染み深い澤井先生、石田先生などがおられました。

●週刊ニュース 1000 号に到達　事務局会議に朝日新聞社記者が取材に来所

本日 9 月 28 日に 1000 号発行を迎えるので、かかわって下さった皆さんが集まって下さいました。丁度、朝日新聞社の下地記者がお越しになったので、取材が行われました。第 1 号から戸別配達を受け持ってくれている森島さんもおいでなっていました。また文章編集や誤字直しと共にホームページに関わっていただいた伊藤さんが取材に応じて、それぞれ苦労話をしていました。最初の頃は FAX や白黒の輪転機での印刷だったので、文字ばかりでしたが、近頃はインターネットが主流になって写真が送りやすくなりカラーでの編集になり、更に丁寧な内容へと進歩しました。

●ホームページの最初の公開は 2003 年 7 月 15 日でした。

2002 年 12 月に NPO 資格を得た頃に活動を広く知らせようとホームページを白木さんのお骨折りがあって開くことができました。そして 2004 年の夏に週刊ニュース創刊が始まりました。そして定期的に週刊ニュースが創刊されて以来、毎週木曜日の正午に更新がされるようになり、それ以後今日まで　白木さんや池田さん伊藤さん小川さん太田さん坂田さんのお手伝いがあって連続更新が続いてきています。

●ワンド調査草刈り　9 月 24 日

第 1 回魚釣りを実行するためにワンドへの通路整備や池の周囲水辺当たりの除草にかなり頑張っていただきました。春 5 月に通路と周囲を除草していただいたのですが、草の繁茂と成長は異常高温のためか早く大きくなり通路を頭に入れているベテランでも通路がはっきりしないようになっていました。また 6 月と 8 月の増水があって苦労続きでの作業となりました。希少植物生育地の除草作業や里山農園の草刈り作業に加えて魚とりの会場の作業が追加しました。とりわけこの夏の高温は体にきつい作業でした。太田さんや森島さんたちが懸命に頑張っていただきましたので、23 日のシンポに参加された皆さん全国各地から 50 人近く来られた折には通路が完成されていました。暑い中ご苦労様でした。有難うございました。

●試し釣りの結果大きなコイやオオクチバスが確認できました。

ここでは小物が少なく驚くような大きいものがいているようです。本流とは隔離されているので小さく弱いものは食べられているように思えます。第 1 回の親子魚釣りには 25 組の参加親子の申込がありました。里山の会では子供の方々に川の楽しみ方の一つとして開催します。木津川漁業組合様のご協力は、たとえブラックバスやブルーギルでも大人については遊漁券の購入が必要とのことです。里山の会としては無料開催を原則にしていますが､子どもたちのお手伝いという形で取り組んでいますが、準備している 36 組分の道具を用意しました。参加申し込み家族が 25 組で子供 36 人分で子どもの釣り道具は完璧に用意しました。それでできれば自分の釣り道具をお持ちの場合はご持参いただけると少し余裕ができますので、

ご準備いただけると有難いです。よろしくご協力ください。なお、主催者の里山の会で遊漁料や保険料はご負担させて頂きます。ご安心下さい。

第1回 木津川親子魚つり大会

日時：2023 年 9 月 30 日（土）　9：00～12：00
場所：京都府綴喜郡井手町　玉水橋　徒歩 10 分
※詳細は前号の週刊ニュース、ホームページをご覧ください。

秋の親子と植物観察会　参加者募集

日時：2023 年 10 月 1 日（日）　10：00～14：00
集合：京田辺市役所正面玄関　参加費無料
※詳細は前号の週刊ニュース、ホームページをご覧ください。

里山の会へメールにて
申込み受付します。
当日飛び込み参加 OK

●第 1 回生きものフェスタ案内

イベント内容

ブース展示　両日開催
9:00-16:00 @展示室（植物園会館 1 階）
京都の自然やいきものの保全に関連する団体、高等学校、大学など、様々な方々がブース出展し、ポスターや写真などによって活動内容を紹介します。

ワークショップ　両日開催
9:00-16:00 @多目的室（植物園会館 2 階）
保全団体等による、自然素材を活かした工作などの体験型ワークショップを行います。

主な内容（予定）
・いきものと香りの関わりを学ぶワークショップ
・外来植物いけばな
・琴引浜の微小貝探し
・薬用植物のワークショップ
・押し花しおりづくり
・『手作りスマホ顕微鏡』づくり
・生物多様性カードゲーム
・伝統的河川工法『竹蛇篭（たけじゃかご）』づくり
・・・など

自然観察会等の屋外イベント　両日開催
@植物園内
保全団体等による自然観察会や野鳥観察会、植物園職員によるどんぐりワークショップ、いきものアプリを使用したいきもの探検などを実施します（予定）。

講演・発表会
10/8（日）

活動発表会
9:00-12:00、13:00-16:00 @ 研修室（植物園会館 2 階）
自然環境保全京都府ネットワークに所属している団体が活動発表を行います。併せて中高生など若手による発表も行います。

10/9（月・祝）

活動交流会
9:00-12:00 @ 研修室（植物園会館 2 階）
テーマ：生物多様性保全の担い手の拡大
保全団体等の皆様が取組内容等を御紹介するとともに、講演者と参加者の皆様が交流する活動交流会を開催します。
＊事前申込みが必要。詳細はこちらから→

学識者の講演会
13:00-16:00 @ 研修室（植物園会館 2 階）
きょうと生物多様性センター 湯本貴和センター長や、京都の生きものに関わる学識者による講演会を行います。

タイムスケジュールや各プログラムの内容等の詳細については、順次、HP に掲載します

出展者一覧（予定）
一般財団法人 池坊華道会、一般社団法人 淡水生態研究所、大原野森林公園運営管理協会、NPO 法人 乙訓の自然を守る会、NPO 法人 亀岡人と自然のネットワーク、NPO 法人国際ボランティア学生協会（IVUSA）、NPO 法人 自然観察指導員 京都連絡会（noi-Kyoto）、NPO 法人 やましろ里山の会、鹿背山倶楽部、かせやまの森創造社、株式会社バイオーム、関西ケリ研究会、京都比山やまゆ塾、京都産業大学 O/OCF-PBL2 9 クラス、京都産業大学 環境政策学研究室、京都自然教室、京都植物同好会、京都大学フィールド科学教育研究センター、京の川の恵みを活かす会、京都府屋上緑化ボランティア「京緑隊」、京都府立農芸高等学校、雲ケ畑・足谷人と自然の会、公益社団法人 京都府医薬品登録販売者協会、公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会、公益財団法人 日本鳥類保護連盟京都、琴引浜ネイチャークラブハウス、さすてな京都、チマキザサ再生委員会、鳥類標識調査グループ・関西、西山自然保護ネットワーク、日本野鳥の会京都支部、人と自然の共生ネット、古田隼弥、プレコ暮らし、ミクロ・ライフ Project、深泥池水生生物研究会、京都府立宮津天橋高等学校フィールド探究部、嵐電沿線フジバカマプロジェクト（敬称略）

連携イベント
- いきもにあ 2023　日時：10 月 7・8 日（土・日）　場所：京都市動楽館 みやこめっせ
- 4 園館連携「きょうと☆いのちかがやく博物館」　＊イベントの詳細は HP などでご確認ください。
- 第 15 回 クラフトマルシェ in 京都府立植物園　日時：10 月 7・8・9 日（土・日・月祝）　場所：京都府立植物園 大芝生地
- 下鴨中通ブックフェア 2023　日時：10 月 7・8 日（土・日）　場所：京都府立京都学・歴彩館

●お問合せ
きょうと生物多様性センター
TEL　090-4496-3887
E-mail　contact@kyotobdc.jp

きょうと☆いきものフェス！2023 会場案内
公共交通機関の積極的な利用をお願いいたします
京都市営地下鉄：北山駅からすぐ
北大路駅から徒歩約 10 分
京都市営バス：植物園前から徒歩約 5 分

里山の会も出展参加します
① ブース展示　活動紹介チラシ 18 枚
自然を大切にする仲間の輪を大きくする
説明解説　大村理事長と金田さん
② 松かさツリーつくり　どの子どもさんも簡単に作れます
つくり指導　森島副理事長
③ 活動紹介　なぜ 27 年も続いてきたのか
説明解説　山村常務理事
④ 竹蛇籠製作講習会
指導:福井理事　播川理事　太田理事　有田理事　竹門顧問
助手:　里山農園母ちゃんズと子どもたち

みなさん参加して下さい
一緒に作りましょう！